

名古屋生まれの奇僧
絵筆で人々を救う。

特別展

画僧

プレスリリース

2018
12.15 [土]

↓ 2019
1.27 [日]

GESSEN

名古屋博物館

特別展 画僧 月僊《げっせん》

【休館日】

毎週月曜日(祝休日の場合は翌平日)、

第4火曜日、年末年始(12/29~1/3)

※12/17[月]、12/25[火]、12/29[土]~1/3[木]、
1/7[月]、1/15[火]、1/21[月]、1/22[火]

【開館時間】

9時30分~17時(入場は16時30分まで)

※一部の作品は、

会期中に展示替えをします。

(前期12/15~1/6、後期1/8~1/27)

主催 | 名古屋市博物館、中日新聞社、

日本経済新聞社、テレビ愛知

協力 | 株式会社 まる々八丁味噌

助成 | 公益財団法人 花王芸術・科学財団

**Nagoya City
Museum**

中日新聞 NIKKEI テレビ愛知

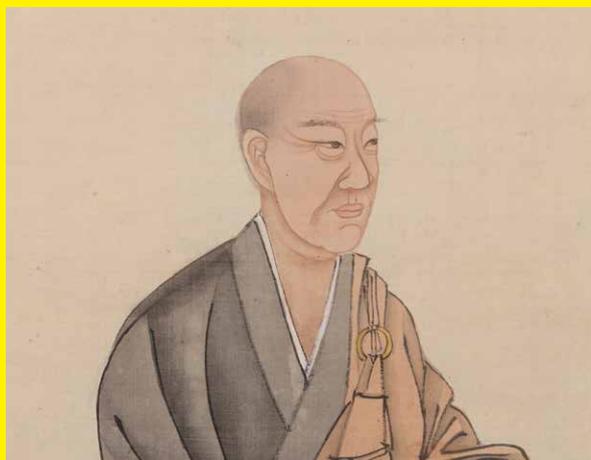
公益財団法人 花王芸術・科学財団

SEN

月僊

GESSEN

生誕の地 名古屋で初めての展覧会



月僊 僧形立像（伝自画像）部分 三重県立美術館蔵

月僊^{げっせん}(1741～1809)は、江戸時代の中頃に活躍した名古屋生まれの画僧^{がそう}（絵を描いた僧侶のことを言います）です。伊勢、寂照寺の住職として貧しい人々を支援するなど社会福祉に尽力するとともに、他には無いユニークな仙人の絵を描いて人気を博しました。本展覧会では、全国に残る月僊の力作を一堂に集め、画家月僊の魅力を紹介していきます。

●展覧会情報

タイトル	画僧 月僊 《げっせん》
会場	名古屋市博物館 〒467-0806 名古屋市瑞穂区瑞穂通 1-27-1 名古屋駅から地下鉄桜通線で17分。「桜山」駅4番出口から徒歩5分。
会期	平成30年(2018)12月15日(土)～平成31年(2019)1月27日(日)
休館日	毎週月曜日（祝休日の場合は翌平日）、第4火曜日、年末年始（12/29～1/3） ※12/17[月], 12/25[火], 12/29[土]～1/3[木], 1/7[月], 1/15[火], 1/21[月], 1/22[火]
開館時間	9時30分～17時（入場は16時30分まで）
観覧料	一般 1,300 (1,100) 円 高大生 900 (700) 円 小中生 500 (300) 円 ※（ ）内は前売および20名以上の団体料金。 ※お得な前売り券は12月14日（金）まで、名古屋市博物館、中日新聞販売店、主要プレイガイド、主なコンビニエンスストア、チケットぴあ（Pコード769-301）、ローソンチケット（Lコード42538）、セブンチケット（ http://7ticket.jp ）、イープラス（ http://eplus.jp/ ）などで販売。 ※名古屋市交通局の一日乗車券・ドニエコきっぷを利用してご来館の方は当日料金より100円割引。 ※身体等に障害のある方または難病患者の方は、手帳または受給者証のご提示により、本人と介護者2名まで当日料金の半額。 ※各種割引は重複してご利用いただくことはできません。ご了承ください。
展示件数	114件（一部の作品については、会期中に展示替をします。）
	主催 名古屋市博物館、中日新聞社、日本経済新聞社、テレビ愛知 協力 株式会社 まるや八丁味噌 助成 公益財団法人 花王芸術・科学財団

展覧会ホームページ <http://www.museum.city.nagoya.jp/exhibition/special/past/tenji181215.html>

お問い合わせ先 名古屋市博物館 特別展「画僧 月僊」広報担当
企画内容については▶横尾 拓真 資料提供や広報に関する事項については▶藤田紗樹、竹内智哉まで
〒467-0806 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂通 1-27-1
TEL: 052-853-2655 FAX: 052-853-8400 E-mail: ncm-gaku@juno.ocn.ne.jp

月僊画の 魅力を、 大解剖！

Check!

ユーモラスな
正面向きの
ニタリ顔。



月僊 恵比寿図 部分 三重県立美術館蔵

見どころ①

ユーモラスな人物たち

月僊は、風景や花鳥、動物まで何でも器用に描きましたが、特徴的なのは人物表現です。中国の神様や仙人、果ては仏様に至るまで、漫画のようにキャラクター化された表現が魅力的。また、「月僊顔」と呼ばれる、個性的な表情も見どころのひとつです。

Check!

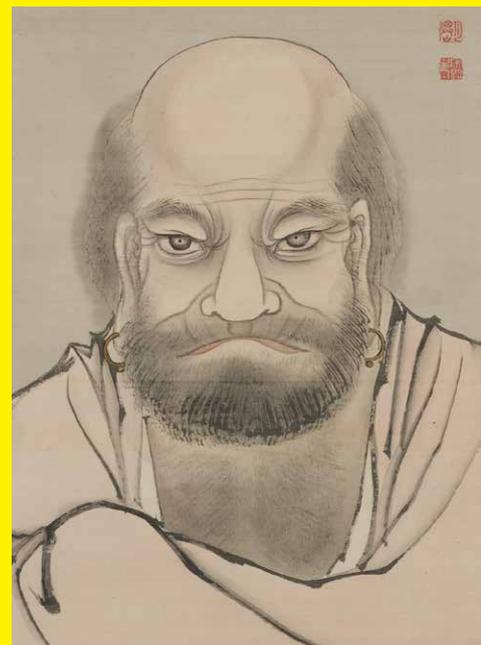
生々しい鯛や腕の表現、また細部へのこだわりが印象的。



見どころ②

写実的で生々しい表現

月僊は、写実的な絵画で人気だった円山応挙に影響を受けました。人体の構造や陰影表現などに見るリアルな描写が、滑稽味あふれる表現を支えています。



月僊 朱衣達磨図 部分 個人蔵

CESSSE

仙人大集合!

月僊は、人物画のなかでも中国の仙人の絵をたくさん描いています。仙人の図像を集めたガイドブック『列仙図賛』の出版も評判を呼びました。ユーモラスな表情と生々しい表現が同居する仙人たちは、親しみやすさと同時に、どこか不気味な雰囲気も漂います。展覧会では、月僊が描く独特な仙人たちを存分に味わえるよう、多くの仙人画を集めました。



月僊 仙人図衝立(鍾離権・呂洞賓) 三重、射和文庫蔵



月僊 黄石公・張良図 愛知、隨念寺蔵



月僊 『列仙図賛』 名古屋市博物館蔵

Check!
肩を寄せ合う、人間味あふれた仙人たち。



見どころ③

江戸時代の新しい仏画

月僊は、浄土宗の僧侶として法要で使用される様々な仏教主題の絵画を手がけました。いずれの仏様もユーモラスで写實的、月僊らしい姿になっています。紙や絹の地の色を活かした淡白な彩色も独特で、中世以前の仏画には無い清新な魅力を放っています。



Check!
月僊仏画の魅力が詰まった縦3mを超える巨大な涅槃図。

月僊 仏涅槃図 名古屋市博物館蔵

SENSEN

GESSEN

お金に汚い和尚さま？

月僊は、作画の代金を必ず請求したので、「お金に汚い」と言われることもありました。けれども貯めたお金は、お寺の復興や様々な社会福祉事業に使うためのものでした。僧侶として、信仰と弱者救済に生きた月僊の優しい眼差しは、その作品からも窺うことができます。

お金に汚い和尚さま？



月僊 百盲図巻 部分 京都、知恩院蔵

Check!

目の不自由な人々が手探りで橋を渡る場面を描いた絵巻。確たる信仰が無く、迷いながら生きる人々を戯画的に描いた風刺画です。一方、絵巻の最後には、目の不自由な人々の才能と個性を讃える文章があり、様々な人々に信仰を説いた月僊の優しい眼差しを窺うことができます。

● 関連事業

※手話通訳・要約筆記など特別なサポートを必要とする方は、当日の2週間前までに名古屋市博物館（電話 052-853-2655 FAX 052-853-3636）までご相談ください。

記念講演会	「応挙・蕪村・月僊」 日時 12月22日(土) 13時30分~15時(開場13時) 講師 山口 泰弘氏(三重大大学教授) 場所 名古屋市博物館 地下1階 講堂(当日先着220名) ※聴講は無料。聴講には本展の観覧券(観覧済み半券可)、整理券が必要です。聴講整理券は、当日9時30分より、展示会場入り口にて先着順に配布します。(観覧券1枚につき1枚限り)
展示説明会	「尾張三河と月僊」 日時 12月24日(月・休) 13時30分~14時30分(開場13時) 講師 横尾 拓真(当館学芸員) 場所 名古屋市博物館 1階 展示説明室(当日先着100名) ※聴講は無料、本展チケットも不要です。
ギャラリートーク	「月僊作品の見どころ」 ユニークな月僊画の見どころを会場内で解説します。 日時 1月4日(金)、5日(土)、6日(日) 13時から30分程度 講師 横尾 拓真(当館学芸員) ※参加には、本展の当日有効の観覧券が必要です。展示会場入り口付近にお集まりください。
プレゼント企画	月僊も愛した「天下無双」の味噌をプレゼント 月僊は三河国岡崎の大田弥次右衛門が製造する味噌が大好物でした。大田家の伝統を引き継ぐ株式会社 まるや八丁味噌の協力により、年間1桶限定醸造の「三河産大豆と神水仕込みの八丁味噌」を抽選で30名様にプレゼントします。 期間 12月22日(土)、23日(日・祝)、24日(月・休) 対象 当日の展覧会入場者 方法 展示会場入口にてくじ引きを行います。各日10名当選。



広報用 作品画像・読者プレゼントチケット 申請書

特別展「画僧 月僊」

平成30年(2018) 12月15日(土)～平成31年(2019) 1月27日(日)

- 広報用画像の使用は、特別展「画僧 月僊」を紹介する場合に限ります。
- 展覧会終了後の使用、または二次利用はお断りします。
- 広報用画像を紹介する場合は、展覧会名・会期・会場・作品名を必ず記載してください。
- 広報用画像に文字のせを行う場合は、事前に申請の上、承諾が必要となります。
- 掲載記事につきましては、基本情報確認のため、校正刷り、原稿の段階で下記の広報担当までお送りください。

貴社についてお知らせください

貴社名

媒体名

ご住所 (〒)

ご担当者名

所属部署

TEL

FAX

E-mail

掲載紙誌の発行日・放映の予定日が決まっておりますお知らせください。 年 月 日

【個人情報の取扱いについて】 ご記入いただきました個人情報は、名古屋市博物館より今後の展覧会に関する情報発信や連絡などが必要な場合にのみ使用します。許可なく第三者に開示することはありません。

作品画像を1点以上掲載し、本展をご紹介いただける場合、読者向けチケット(5組10名分まで)を提供します。

- 希望する 組 名分
- 希望しない

※原則として掲載紙・誌(webの場合は掲載アドレス通知のメール)が広報担当に到着し、確認させていただいてから発送いたします。

希望の画像の□に✓してください。

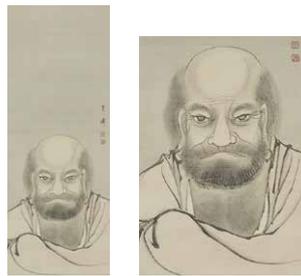
※資料名は以下の名称を省略せずそのままご使用ください。なお月僊の「僊」の字にご注意ください。

※画像1, 2, 3は、全図と部分図、画像7は、2種類のイメージを提供します。

1 月僊「僧形立像(伝自画像)」 三重県立美術館蔵



2 月僊「朱衣達磨図」 個人蔵



3 月僊「恵比寿図」 三重県立美術館蔵



4 月僊「人物図衝立」 射和文庫蔵



5 月僊「仏涅槃図」 名古屋市博物館蔵



6 月僊「百盲図巻」部分 知恩院蔵



7 特別展「画僧 月僊」イメージ (キャプション不要)



お問い合わせ先 平成30年度 名古屋市博物館 特別展「画僧 月僊」 広報担当(藤田 紗樹・竹内 智哉)

〒467-0806 名古屋市瑞穂区瑞穂通1-27-1 / Tel 052-853-2655 / Fax 052-853-8400 / E-mail ncm-gaku@juno.ocn.ne.jp